



## 猫に水を飲んでもらう工夫



猫に水を飲んでもらうことが病気によっては予防や治療につながります。でもどうやったら飲んでくれるのでしょうか？今回は猫に水を飲んでもらいやすくする方法を紹介します。

### どんな病気の予防・治療に役立つの？



腎臓病で腎臓が悪くなると回収して再利用する水分が尿として出てしまいます。(症状として多飲多尿になるのですが飲んでいられるよりも尿が多くでてしまっています)そのため水分が余分に出ることで脱水を引き起こします。その水分を補うために水を飲んでもらう必要があります。※体重1kgあたり50cc以上の飲水は腎臓病などの病気の可能性があります。早めに受診してください。



猫は膀胱炎になりやすいです。飲水が少ないと尿が濃くなって尿中に細菌や結晶・結石が増えやすくなります。そのため水を飲んでもらうことで、尿を薄くすることが膀胱炎の予防や治療に役立ちます。

#### 1.食事から摂る



ドライフードの水分含有量は約10%くらいに比べてウェットタイプは70-80%とかなり水分を含んでいます。普段ドライフードをウェットフード(総合栄養食又は療法食)に変えることで簡単に水分を取ることができます。※歯に汚れは付きやすくなるのでデンタルケアはかかさず行いましょう。



#### 2.食事の回数を増やす

猫は食事の後に水を飲む傾向があります。1日の量を数回に分けて、食事の回数を増やすことで飲水回数が増えるでしょう。



#### 3.新鮮な水を用意する

水は毎日取り替えて、新鮮なものを与えてください。



#### 4.食器を清潔にする

食事の器は毎日洗うけど、水の器は毎日洗わないという方もいますが、水の器も毎日洗って清潔にしてください。またプラスチック素材の器は傷の部分にカビが生えやすいので定期的に新しいものに取り替えましょう。



#### 5.食器の材質を変えてみる

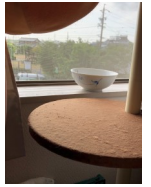
猫によって好みがあるのでその子が好きな素材を見つけてみてください。陶器・ガラス・プラスチック・ステンレス...どの材質の器でよく水を飲むか試してみましょう。



## 6.水の器の形を変えてみる



猫は水を舌で上に持ち上げて水柱を立て、それを食べるように飲んでいきます。そのため口の狭い器だと飲みにくく、また大事なひげが器に当たると飲むのをやめてしまうことがあります。口の広いひげの当たらない器の形を選びましょう。(大きなどんぶりでも可)



## 7.水の温度を変えてみる



常温・ぬるま湯・氷水など猫によって好みの温度があります。どの温度が好みなのか見つけてあげましょう。

## 8.水に風味をつける



塩やしょうゆなどを入れず、鶏肉・豚肉・牛肉など肉をゆでた汁や魚をゆでた汁を試してみましょう。またゆで汁は傷みやすいので飲み残しは置いておかないようにしましょう。

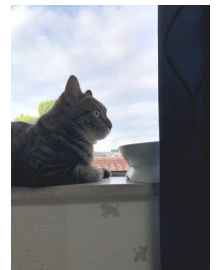
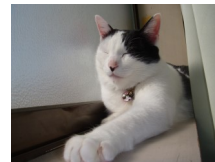
## 9.水の形を変える



動きのある水を好む場合も多いようです。流水を試して見ましょう。また水が循環するような給水機でフィルターを使うようなものはこまめに掃除が必要です。分解できて洗いやすいものを選ぶと良いでしょう。

## 10.置き場を変える

トイレの近くに食器を置いてはいませんか？猫はトイレの近くでの飲食を嫌うことがあります。トイレからは少し離れた場所に食事や水の器は設置しましょう。



## 11.置き場を増やす

飲みたい時に近くに水がないと我慢してしまうことがあります。飲みたいときに飲めるように家のあちこちに水の器を置きましょう。

## 12.食器の共有を避ける

特に犬が同居している場合は犬の唾液の入った水を嫌がる猫が多いです。犬が飲めない高い場所(窓のところや家具の上など)に猫専用の水の器を設置して共有しなくてもいいようにしてあげてください。

猫を多頭飼いしている場合、水の器は色々な場所に複数置いてください。特に猫同士の仲があまりよくない場合は、お互いに会わなくても飲めるような場所に設置してあげましょう。



水を飲まないからと猫の口に強制的に水を入れることは、猫との信頼を失う可能性もあります。これらの工夫をして猫が自分から水を飲んでくれると、とてもいいですね。また愛猫の好みを知る機会にもなると思いますので、是非色々試して好きなもの探しをしてあげてください。水分をたくさん摂って健康に長生きできるといいですね。

